

施策の柱5 交通の低炭素化推進

取組⑨ 自動車交通需要の抑制



■取組の方向性

日常の移動手段を見直し、徒歩や自転車、公共交通機関の利用を推進することにより、自家用車の利用頻度の削減に取り組みます。また、物流に係る温室効果ガス排出量の削減を図るため、輸送形態や輸送方法、輸送手段の合理化に努めます。



■具体的な取組

取組の主体	取組の内容
事業者	- 車両1台あたりの積載効率の向上や帰り荷の利用促進等により、貨物輸送の効率化を図ります。 - 運輸業を営む地域の企業間の連携に取り組み、共同輸配送などの導入による輸送方法の再編を検討します。 - 輸送に係る時間やコストを考慮して、できる限り鉄道や海運などの環境にやさしい輸送手段を活用します。 - 通勤用バスや店舗用シャトルバスなどの導入を検討します。

取組⑩ 次世代自動車の普及促進



■取組の方向性

ハイブリッド自動車や電気自動車をはじめとして、将来的に実用化が進む低燃費・低排出の次世代自動車の普及を促進し、自動車自体の性能向上による温室効果ガス排出量の削減を目指します。

■具体的な取組

取組の主体	取組の内容
事業者	- 社用車を購入する際は、次世代自動車を選択するよう心がけます。 - 電気自動車の試乗などを通じて体験機会を提供し、次世代自動車の普及・販売に努めます。 - 電気自動車の充電スタンドや水素ステーションの設置・運営を検討します。 - トラックなどの貨物輸送に係る車両の燃費性能の向上に努めます。

施策の柱 6 環境負荷の少ない都市形成の推進

取組⑪ 緑の保全・緑化の推進



■取組の方向性

二酸化炭素は本市が排出する温室効果ガスの 90%以上を占めていることを踏まえ、森林や緑地の保全・整備やまちなかの緑化の推進等を通じて、二酸化炭素を吸収する緑の機能の増強を図ります。

■具体的な取組

取組の主体	取組の内容
事業者	・市や関係機関と連携・協力し、温室効果ガスの吸収源となる緑の保全活動へ積極的に参加します。 ・敷地内をはじめ、屋上や壁面等の緑化に取り組みます。

取組⑫ 都市機能施設の集約の促進



■取組の方向性

立地適正化計画に則り、都市機能誘導区域や居住誘導区域の設定を通じて都市機能の集約を図ります。また、施設の更新等建築物の建替の機会を捉えた大規模開発の際の省エネルギー型の建築物の普及促進、ICT環境の整備によるエネルギーマネジメントの普及を目指します。

■具体的な取組

取組の主体	取組の内容
事業者	・エネルギー需要を抑制するしくみの導入を検討します。